

ひろば

大代

No. 557

令和7年12月号

大田市の人口 (R7.12.1現在)
大田市 31,413 人々
内大代町 270 人々
男 130 人々
女 140 人々

大代町文化祭を終えて

大代まちづくりセンター長

永井利樹

先日の大代町文化祭の開催にあたりましては、皆様より多大なるご協力と温かいご支援を賜り、心より御礼申し上げます。

当日は朝から見事な晴天に恵まれ、絶好の文化祭日和となりました。開場と同時に多くの方々が足を運んでください、会場は終了時間まで、賑わいと笑顔にあふれておりました。町内外から世代を超えて多くの皆様がお越しくださいましたことは、地域のつながりの深さ、そしてこの町を愛する気持ちの豊かさを改めて感じる大きな喜びとなりました。

今年は、大代駐在所岩切さんのご尽力により、島根県警察音楽隊の参加が可能となり久しぶりの生演奏を大音量で聴くことができて感動しました。展示物や、保育園の子どもたちによる踊りや歌など楽しませていただきました。

又、各団体、個人、サークルの皆様が趣向を凝らした物を出店していただき、ありがとうございました。朝早くからの仕込み大変だったと思います。

会も無事に終了はしましたが、私個人としては会そのものが開催できるか?と思うような問題が当日朝に発生しました。トイレに使う水が一晩でフラツシユバルブの不具合で無くなり、当日開場時に、女性の方から「トイレが流れない」と言われ、タンクを見ると水がなくなつておりポンプは作動せず!!原因追求と、水を溜めるためのポンプを作動させたり原因が早くわかつた



ため開演までには対応できて「ほつ」としました。日向高山会会長と「トイレが使えなかつたらどうしよう」とまで相談しましたが・・・

何はともあれ今年の文化祭も無事に終了しました。地域の皆様から寄せられた温かい励ましや協力の数々は、文化祭を支える大きな力となりました。特に会場設営や片付けに協力していた各自治会長さま、各団体の方ありがとうございました。この場をかりてお礼申し上げます。

大代町文化祭への参加報告と感謝

高山みらいの会

会長 山本竜法

去る11月16日、秋晴れとなつた穏やかな陽気の中、私たち高山みらいの会は大代町文化祭に「たこせん」という飲食出店という形で参加させていただきました。当日の会場は朝早くから多くの町民の方々で大変賑わっていました。私たちが出店したのは、大阪名物に着想を得た「たこせん」です。これは、熱々のたこ焼き（冷凍）を、特製のいかのせんべいで大胆に挟んだ一品です。片手で手軽に食べられるスタイルのパリパリ感という異なる食感の組み合わせが特徴です。

事前の準備に加え、当日は会員一丸となつて心を込めて設営・販売にあたりました。「限定70食」として提供した「たこせん」は、皆様のおかげをもちまして販売開始からわずか数時間ほどで完売いたしました。特に、その手軽

さと珍しさから、小さなお子様から大人の方々に幅広くおたのしみいだけたようで、参加した甲斐がございました。今回



の文化祭への参加は、単に食べ物を販売するだけでなく、私どもの活動を地域の方々に知つていただきためのPR活動の一環でもありました。

高山みらいの会は、大田市高山ブロック地域の実際的な姿や現状に学び、地域の未来を展望した地域づくり・人づくりのための企画・立案を行うことを目的としています。平成24年に、高山地区4町から男女1名ずつの8名と公民館長、主事の合計10名で発足しました。学習会の開催や実践活動を通じて、地域の活性化や次世代の人材育成を目指し、これまで活動を続けております。具体的には、「高山地区のエ

リアマップ」を作成・配布し、そのマップを活用した地域散策会、講師を招いての料理教室、スポーツコミュニケーションとしてのフロアアカーリング大会などを実施してまいりました。また、大田市立第三中学校体育祭への応援や共同企画など、次世代を担う子どもたちとの交流も積極的に行い、高山地域住民や他地域住民のコミュニティの維持・発展活動に取り組んでいます。

昨年度は、これらの小さいながらもこつこつと続けてきた活動に対し、大田市教育委員会から『感謝状』もいただきました。会の活動をより広く知つてもらうため、4年前からは各町の文化祭に積極的に参加しています。今回も、普段なかなかお会いできない地域の方々と直接交流できる貴重な機会となり、地域コミュニティの温かさや、人と人との繋がりの大切さを改めて再確認することができました。

最後になりますが、文化祭を企画・運営された関係者の皆様、そして私たちのブースにお立ち寄りくださった多くの皆様に、心より感謝申し上げます。

高山みらいの会は、今後も地域の皆様と共に、より良いまちづくりに向けて活動を続けてまいります。

小笠原流大代田植囃子への想い

下飯谷 飯田啓介

小笠原流大代田植囃子について、このひろば大代に掲載させてもらうのは、過去を振り返ってみるとこれが4回目のようにです。過去の記事を読み返しても、自分にとって、大代町にルーツを持つひとりとして、この「大代田植囃子」への思い入れというか、この地での暮らしの中で大切にしたい大きな要素の一つとなつていています。

もしかすると、大小かかわらず、大代町内・外（県外も含め）かかわらず、こうした気持ちをお持ちの方はいらっしゃるのではないかと思います。私自身、この度そんな「大代田植囃子を残し伝えていきたい」という想いを一步踏み出してみることにしました。と言いまがらも一人では何もできません。想いに耳を傾けて、共感してくださる

方々のおかげさまで、その先駆けとして12月6日（土）には、そうした想いや今後の取組みに向けて発信し一緒に考えていただけた機会を保存会として企画いただきました。女性メンバーの方々を中心



に、おいしいお食事も用意いたいで、子どもから大人までわいわいと過ごせる時間が持てたことは、とてもうれしく感じました。こうした機会も重ねながら、少しずつでも小笠原流大代田植囃子の保存や伝承活動を楽しく進めていけたらと考えています。

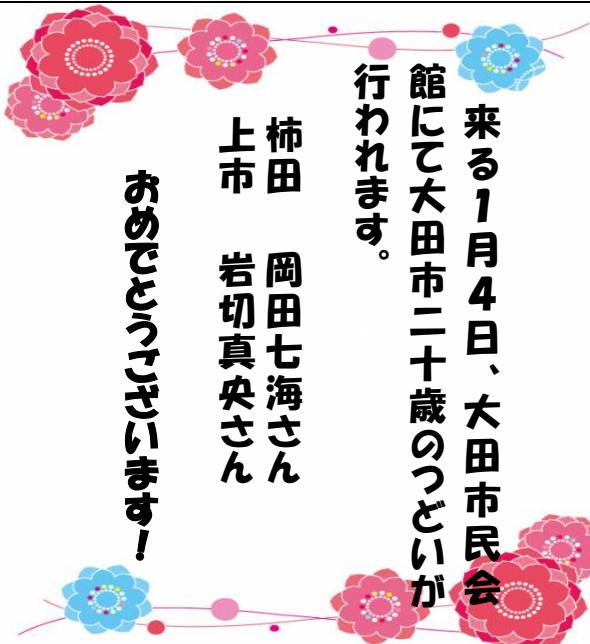
今後、そうした保存や伝承活動に取り組んでいくためには、様々な方々のお力や想いを寄せなければできないものと思っています。ぜひこうした活動に共感してくださる方、活動に参加していただきたり、それぞれにできるカタチで構いません。ぜひ、応援やご協力など、一緒に盛り上げていただけたらと思います。

小笠原流大代田植囃子動画を見ることができます。ぜひご覧ください。

100人の
田植囃子

石清水八幡宮
例大祭奉納





柿田 谷口俊二様
上市 岩田七海さん
柿田 岩切真央さん
あめでとうございます！

来る1月4日、大田市民会館にて大田市二十歳のつどいが行われます。

落葉踏む脚に力の入りをり
報恩講法話聽けども不信心
上市 横田美恵子
冬の日や手作り帽子温かく
猫通る障子の穴の大きかな
井田 山田松三郎
川上 岩田律枝
冬の風ひ孫誕生顔見たし
庭先の色とりどりの山茶花や



柿田 谷口俊二様（故 谷口光枝様）
より香典返しにかえ御厚志を頂きました。厚く御礼申し上げます。

1月行事予定

▼ 5日（月）	まちセン仕事始め
▼ 17日（土）	新年わくわく会
▼ 18日（日）	福祉弁当
▼ 19日（月）	言事部
▼ 22日（木）	大代高山会定例会
8日・13時30分	・15日・22日・29日（木）

【1月～3月は午後開催になります】

大代まちセン進入路（旧岡医院横）
が土砂崩れにより通行止めになつてお
りましたが、この度復旧し通行できる
ようになりました。大変ご不便をおか
けいたしました。



子どもから大人まで、どなたでも参
加できますので、お待ちしております。

来年もやります！
大代町新年会

